令和８年度　清瀬市立清瀬第五中学校　校長室たより ９月ノ５号　発行日 R8,10,8　五中 HP

ひまわりノ畑

教育目標　思索・和敬・剛健

学校スローガン　笑顔と あいさつ そして ありがとう

http://www.kiyose.ed.jp/kiyosedaigotyuugakkou/index.htm

初秋の「柳瀬川回廊」をブラブラ

秋分の日が過ぎても秋雨前線が居座り、９月の晴れの日は四日、真夏日も四日だけで、厳しい残暑を避けられましたが、東京の雨天連続日数は３６日と、統計開始以降１５０年間で最長記録だそうです。そういえば地面のあちらこちらでキノコが元気です。

先週、とある会議で「清瀬せせらぎ公園」について、話題にあがりました。この公園は、S６３年に全国市区町村に交付された「ふるさと創生事業」の費用（１億円）を活用して、市民が水辺に親しむ散策路を兼ね、子供たちが自然体験をする「自然学習園」として整備されたそうです。H１２年の完成から２６年がたちますが、計画段階から参加したNPOなどの市民の皆さんのご協力もあり、今でも、市民の憩いの場です。



オオムラサキ飼育ゲージ

先週末は、朝から久しぶりに青空がのぞき、上記の話を思い出し、市が整備する散策路「柳瀬川回廊」の散歩に出かけました。秋津駅北口から、空堀川沿いに緑地保全林を通って、「せせらぎ公園」を抜け、柳瀬川に出て川沿いに進み、「清瀬金山緑地公園」で一休み、坂を上って柳瀬通りに出て、本日の最終目的地「伊藤記念　台田の杜公園」まで、途中ハクセキレイやコサギなどの野鳥や、キチョウやアカボシゴマダラ、ジャコウアゲハなどの蝶、色づき始めたハナミズキなどの草木を見しながら、２時間半くらいかけて、ゆっくり歩きました。



せせらぎ公園の「生態保存ゾーン」では「ヘイケボタル」生息しており、数は多くありませんが、５月の下旬～６月中旬に観察することができるそうです。「カタクリ」の自生地もあり、３月下旬～４月上旬に花が咲き、そして台田の杜には、国蝶「オオムラサキ」の飼育ゲージがあり、６月中旬～７月上旬頃に見られるそうです。今回、ザリガニ釣りに興じる親子や、アユ釣りをする釣り人、２０名以上でネットを持ち、川の生き物調査をする団体、望遠レンズを構えるバードウォッチャー、そしてバーベキューを楽しむ方を見かけました。豊かな自然を楽しめる清瀬ですが、川や森が荒廃し、自然の再生・保存活動が叫ばれ時代もありました。

道徳「オオムラサキの棲む清瀬を目指して」１年生





9/17の１年生道徳は、市教育委員会が作成した「清瀬市道徳郷土資料集」に収められている「オオムラサキの棲む清瀬を目指して」という読み物資料を使った授業内容でした。物語は、「四中の生徒が、オオムラサキが生活できる雑木林を再生するための植樹ボランティアに参加をする」という内容で、実際にあった出来事がです。郷土や自然を大切に思う心、自分にできる社会貢献とは何かなどについて、考えました。この資料集は、平成２６年に作成が始まり、令和４年の改定を受けて、現在も小中学校で使用されおり、清瀬を題材にした１３の話が収められています。

道徳「金賞を目指して」１年生　10/2（金）

10/２の１年生道徳は、今の時期に合わせて合唱コンクールを題材にした資料でした。「みんなで元気よく歌って、必ずこのメンバーで金賞を取ろう」というクラス目標を掲げたクラスでの練習の様子を書いたもので、歌の得意な生徒や、苦手な生徒、そして指揮として苦悩する生徒など、それぞれの視点で書かれ、学校生活や集団生活について考える内容です。それぞれの立場や、価値観、考え方の違いがある中で、互いの考えを尊重しながら、どう解決するのかという難しいテーマでしたが、まさに現在その真っただ中なので、自分事として考えられたようで、道徳ノートには意見がびっしりだったようです。

■１年生《 道徳の授業を通して考えたこと 》



・人によって得意不得意があるから、不得意でも逃げずに自身をもってやることが大事だと思った。
・困ったことがあったら一人で悩むのではなく、周りにいる先生や友達に相談してみようと思った。
・お互いの得意不得意を理解して補っていくことが大切。
・そもそも人のことを考えないとやっていけないんだなと気が付いた。

天下無奏 ～頂き目指せ！ 最高の輝き～



いよいよ、今週の土曜日は、第45回 合唱コンクールです。１学期より、実行委員会での準備や、音楽の授業で練習が始まっていたとはいえ、後期生徒会・専門委員会の立ち上げ、中間考査、部活動の大会、そして修学旅行と、苛烈ともいえる日程の中で当日を迎えることとなりますが、練習を見ていて、生徒たちは、素敵な合唱を奏でてくれることと確信しております。保護者の皆様にはご多用とは存じますが、ぜひご来場いただけたら、幸いです。

■3年生 自由曲の紹介 ～ 自由曲レポートより 抜粋/編集 ～

3B「青い鳥」…本当の幸せは遠くにあるものではなく、身近なところにある。失敗や誤解を繰り返し、それを経験という糧にして、再び歩きはじめることが大切なのだということ、歌詞から感じられる希望が温かさを大切にしながら、聴く人の心にもその思いが伝わるように歌いたい。

3A「証」…共に過ごした仲間への感謝、それぞれの道へ進む強い意志などが込められ、歌詞の「前を向きなよ」のところで、別れを惜しみつつも一緒に過ごしたかけがえのない時間を受け入れるという意味も込められている。友達との絆や思い出を思い浮かべながら、静かなところは優しく、聴く人に言葉が伝わるように歌いたい。

3C「群青」…作詞作曲者が努めていた南相馬市小高中学校は東日本大震災で被災し、生徒を4名津波で失い、原子力発電所の事故で生徒たちは全国に避難し、散り散りとなる生徒たちの言葉をつなぎ合わせて出来上がった曲、「明日も会えるかな」「君も同じ空きっと見上げているはず」また会おうという希望と大切な人への強い絆が込められている歌です。

■2年生 先輩・後輩、そしてクラスの仲間へ メッセージ



2C「3C の皆さんへ」…最後の合唱コン頑張ってください。先輩方の歌がとても楽しみです。音楽室から聞こえてくる3年の迫力ある美しい合唱にいつも圧巻されています。僕たちも先輩がたの歌声を目指して頑張ります。 他

2B「1B の皆さんへ」…初めて合唱コン、緊張すると思うけど全力で楽しもうね。お互い最優秀賞を目指して頑張ろう！クラスのみんなで協力して素敵な合唱を作ってください！一緒に優勝目指して頑張ろう！ 他

2A「クラスの皆へ」…みんなで、全力で歌って、全力で楽しみつつ、みんなが笑顔になって終われる、最高の思い出にしよう。みんなで一緒に二冠をめざそうね！心を一つに全力で、不安もたくさんあると思う。不安を乗り越えて、自信を身に付けて、最高の景色を見に行こう！！ 他

■清瀬五中生活躍のご紹介

【バドミントン部】

●第6回東京都第11ブロックバドミントン選手権大会 東京都中学校体育連盟

女子ダブルス **第５位 ３年生ペア**

●清瀬市内中学校バドミントン大会 清瀬市バドミントン連盟

３年生の部

女子団体	**優勝**				
女子シングルス	**優勝**	**３年生、**	**準優勝**	**３年生、**	**第３位 ３年生**
女子ダブルス	**優勝**	**３年生ペア、**	**準優勝**	**３年生ペア、**	**第３位 ３年生ペア**

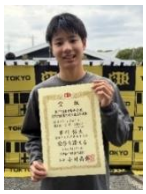


【水泳部】

第32回 FINAL MATCH 多摩地区中学校水泳部連絡協議会

１００m平泳ぎ	**第３位 １年生**
１００m個人メドレー	**第３位 ２年生**
５０mバタフライ	**第２位 ２年生**





【陸上競技】

第79回東京都中学校支部対抗陸上競技大会 都中学校体育連盟

１１０mＪＨ **第１位 ３年生**

【吹奏楽部】

きよせふれあいまつり 10/3 ～ ふれあいコンサート出演 ～

《演奏曲》ひまわりの約束、髭男メドレー、RPG、エル・クンバンチェロ



※家庭配布版では、生徒氏名をご紹介しています。